



2015-2016年度 R.I. テーマ



「篆刻」石崎 巖 会員



- ◆ 会長 木下 茂 ◆ 幹事 宮崎 繁幸
- ◆ 発行 会報委員会 8月担当 柴 垣

第2321回例会 8月4日(火)

- ◆ 点 鐘 木下 茂 会長
- ◆ 司 会 宮崎 繁幸 幹事
- ◆ 国歌斉唱
- ◆ ローターリーソング 「奉仕の理想」
- ◆ 四つのテストの唱和 職業奉仕委員会
- ◆ ゲスト
白山RC 清水 俊栄 様
八木 良彦 様
交換留学生 オリビア・スミス 様

☺☺ ハッピーバースデー ☺☺



8月6日
吉 田 君



8月9日
森 君

◆ 会長挨拶

8月に入りました。今月は会員増強・拡大月間です。早速、慶野委員長の卓話でスタートです。
又、交換留学生の動きが重なり、現在のオリビアさんは夏休みで多彩な行事参加があり、佐々木さんのお嬢さんが8月5日に一年間の留学を終えて帰国されます。

先の交換留学生アビさんの8年ぶりの訪問があります。先週は、芦崎さんからミールサービスの紹介を通じて、食事を提供される心がけと経営理念を話していただきました。

さて、先月芥川・直木賞の選考があり、若手芸人の日常を描いた「火花」を書いたお笑い芸人の又吉直樹が受賞しました。

文芸誌「文学界」が創刊以来の増刷となり、単行本が180万部のベストセラーです。

過去に、この賞はその時代の青春を扱う新進作家に与えられるとはいえ、直木賞とともに80年の歴史を持つ、日本で最も有名な文学賞。

「芥川賞も、こんなものか。」と感じましたが、来月の「文芸春秋」に掲載されるであろう選考委員の選評を注目したいと思います。

◆ 出席報告 (南副委員長)

- ・ 出席率 会員30名中(出席免除者2名) 24名 85.71%
- ・ 欠席者 原君、石崎君、宮田さん、富川君の諸君
- ・ 前々回 (2319回) の修正
メイク・アップ 木下君：71.42%→75%

◆ 幹事報告

- 第2610地区国際青少年交換プログラムより
・ 7月派遣交換学生月例報告
- 全日本大学女子野球連盟より

創立1968年 (昭和43年) 5月27日 (第2610地区内創立順位19)

例 会：火曜日 12:30 於. にかわ信用金庫本店5 F TEL (0765) 24-1155 第3例会 18:30 於. 喜楽 TEL (0765) 22-0715

- ・第29回全日本大学女子野球選手権大会開会式の開催について

☆ 8 月度例会案内

	活 動 内 容	例会場
8 / 11(火)	卓話担当：佐々木君 Rの友・情報紹介	信金 5 階
8 / 18(火)	卓話担当：久津谷君	信金 5 階
8 / 28(金)	魚津 R C 合同例会	ホテル グランミラージュ

★ 8 月の S A A 補助

南君・鈴木君の諸君です。よろしくお願いします。

◆ ニコニコボックス

- ・窪田 琴美さん：先日、父が亡くなった時、ロータリーの皆様が足をお運び下さった姿に、心こみあげ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。父は、知人のお葬儀に礼服をクリーニングに出すヒマがないほど、よく出向いていました。父の葬儀に参って下さったり、お声をかけてくださったり、お葬儀とは、今生きている者の心にあたたかさをさしのべてくださるものということ、皆様から教わりました。人のあたたかさという大事なことを父が、これまで大事にしてきたことをロータリーの皆様からお教いいただきました。感謝に絶えません。ありがとうございます。
- ・白山 R C 様：地区大会で再び皆様にお会いできることを楽しみにしております。
- ・佐々木祐司：今日の夜、娘（のん）がニューヨークから成田空港に到着します。一年間ありがとうございます。来週、帰国報告を兼ねてごあいさつさせていただきます。

今週までの合計額 120,000円

◆ 卓 話 「留学生のあれこれ」



慶 野 達 二 君

- ・初めて国際交流が始まりましたのは1969年、今から46年前に P G 北川晶夫さんが委員長になられてオーストラリアとの交換がスタートになります。以来、今日まで派遣が470名余り、受け入れが450名余りの交流を行ってきました。

- ・また、このほかのプログラムとして1ヶ月間の短期留学がありますが、7月にアメリカから4名の高校生が当地区に参りまして、1ヶ月滞在し、その子が帰るとき一緒にアメリカへ行き、1ヶ月間滞在して帰国します。
- ・もう一つ、別のプログラムとしてベルギーと短期の交換をしております。1970年から3年に一度、大学生を対象にこれまで13回行われてきました。

- ロータリーが青少年奉仕活動として取り組む課題は「青少年に夢や希望を与える」ことですが、この国際青少年交換プログラムはロータリーだからこそできるプログラムであり、ロータリーでなければできない大変素晴らしいプログラムだと思っています。現在、世界80カ国で8000名の交換留学が行われていますが、ロータリーソング「奉仕の理想」に、**望むは世界の久遠の平和…**とあります。世界でもっともこの交流が盛んになれば、…と願っております。人々の交流のあるところには争いが起こらないのではないのでしょうか？

- これまで留学を体験した子供たちを見てきましたが、高校生という最も多感な時期に、実際に海外へ行ってみなければわからない、様々な体験を通じて人間的に大きく成長して帰ってきております。

英語がおぼつかない子供たちが1年間親元を離れて暮らすことで

- ・感謝の気持ちを持てるようになった。
 - ・他人の家でホストしてもらって生活の中で気配りができるようになった。
 - ・度胸がついた。
 - ・自分の意見を持てるようになった。
 - ・自分から積極的に行動できるようになった。
 - ・いろいろ失敗を経験して人間が大きくなれた。
- などなど子供たちは、両親の庇護から離れ一人で苦労した結果、大きな人間力を培って帰ってきます。

- ロータリーはこの子供たちをある意味、親善大使として派遣するわけですが、本人は「国際体験を通じて国際理解・知識の広がり、語学力の向上など本人の能力や可能性を広げ、留学を通じて国境を越えた、幅広い人との交流が持てるようになります。外国で1年間生活してみると、当然英語はできるようになりますが、しかし「**英語が一番でなくて、英語ができて次何をすのか**」までに成長して帰ってきます。

- そのような経験を得る大きなチャンスですが、一方、両親には出したがらない、本人には出たがらない傾向もあります。楽しんで生活をしていると、そんなしんどいことはさせたくないとか、いやだとか。何も危ない海外など行かずに家にいた方がいい。など何とか大学は行けるだろうし、海外に行かなくても、

英語を話せなくても、不自由なく暮していけるだろうし。などなど、内向き姿勢があるようです。

しかし一方、本人はテレビや雑誌などで外国に興味を持ち、留学を夢見ることあるかもしれませんが、自分一人ではなかなか行動に移せないし、ご家族も家庭内で実行しようとしても、どうして良いか分からないことが多いのではないのでしょうか。

ロータリーには他にたくさんのプログラムがありますが、ロータリアンの子弟を優先的に派遣できる、唯一ロータリアンが特典を享受できるプログラムなのです。

○先日、全国青少年委員長会議があり、基調講演に前駐米大使・現在日米協会会長の藤崎一郎さんがゲストスピーカーとして講演されました。

・藤崎さんはこれからは英語を身に着けることの大切さを話されました。最近国境が低くなり、世界はボーダーレスになってきております。自分たちの生活や環境の中で得る情報にはいろいろな国の情報が付いて回ってきます。マスコミは常に外国の情報を流しています。たとえばTPPなどですが、

また、最近、身近な例ではゴルフやテニス・野球のメジャーリーグ等その他いろいろな分野でよく知っている日本の選手が活躍しております。以前と比べるとごく自然にのびのびと楽しんで活躍しているように見えます。

まさしく最近のボーダーレスの例です。

現在、世界で情報の80%は英語でやり取りされているようですが、言葉ができないと直接的に伝わらないことがたくさん出てきます。

日本のこともまだまだ知らないことはありますけれども、英語で世界の共通の話題を話し、世界を「鳥の目」で俯瞰してみることができるようになります。日本もそんな時代が来るように思います。

考えてみると、それは高校生で育ちざかりの柔軟にいろいろなことを吸収できる年頃の時が大きなチャンスであり、バックアップできるロータリーのプログラムで実現できるのです。

ちなみに、現在の日本の英語力は世界で55位で、東南アジアの中でも低いほうだそうです。

世に様々な留学の方法はありますが、ロータリーで行う交換留学プログラムは最も安全・安心な留学プログラムであり、必要経費も大変安い費用でできるという大きな特典があります。

第2322回例会 8月11日(火)

◆点鐘 木下 茂 会長

◆司会 宮崎 繁幸 幹事

◆ロータリーソング 「我等の生業」

◆ゲスト

派遣交換学生 佐々木 音 様

交換留学生 オリビア・スミス 様

☺☺ ハッピーバースデー ☺☺



8月19日

関 口 君

◆会長挨拶

8月6日、2006-2007年度交換留学生アビー・マリオンさんの魚津訪問に際し、当時のホストファミリーのみなさん、会長の石崎さん他が集まり、歓迎会がありました。

アメリカへ帰国後大学進学、物理を専攻、現在はエンジニアとして立派に活躍され、休暇をとっての訪日です。

成長いちじるしい姿に、みなさんうれしい会話のひとつでした。

又、一年間のアメリカ留学を終えて帰国された佐々木音さんと、魚津市役所へ帰国報告に慶野地区委員長と市長表敬訪問に行ってきました。

後ほど御本人からの留学体験が話されます。

一方来週の例会は先日の理事会を経て、8月18日「緑陰例会」とし、場所を照顕寺さんにてお願いしました。

お盆の月でもあり、近年亡くなられた会員の方々の御供養にもなればと思います。

数百年の歴史のある静かな境内で、有意義な時間を過ごしましょう。

詳細は、倶楽部奉仕委員長の三浦さんから後ほど委員会報告でお話いただきます。

◆出席報告 (鈴木委員長)

・出席率 会員30名中(出席免除者2名) 18名 64.28%

・欠席者 芦崎さん、畠山君、原君、石崎君、久津谷君、南君、宮田さん、関君、富川君、横谷君の諸君

・前々回(2320回)の修正 なし

◆幹事報告

○全日本大学女子野球連盟より

・第29回全日本大学女子野球選手権大会プログラム

☆ 8 月度例会案内

	活 動 内 容	例会場
8 / 18(火)	緑蔭例会：クラブ奉仕委員会	照顕寺
8 / 28(金)	魚津 R C 合同例会	ホテル グランミラージュ

★ 8 月の S A A 補助

南君・鈴木君の諸君です。よろしくお願いします。

◆ ニコニコボックス

- ・ 佐々木祐司君：娘が無事帰ってきました。皆さま、ありがとうございます。
- ・ 扇谷一郎君：8月10日、2人目の孫が生まれました。

今週までの合計額 131,000円

◆ 卓 話 「帰国報告」



第2610地区
国際青少年派遣交換学生
佐々木 音 様



こんにちは、佐々木音です。

今日はアメリカでの留学生生活を無事終えたご報告と一年間の貴重な経験をさせていただいた御礼にまいりました。

昨年8月19日からアメリカ・ニューヨーク州のロックポート市で地元の高校に通いながら1年間生活しました。1年前にここで出発のあいさつに来たときは不安でいっぱい、皆さんにしっかり挨拶することができませんでした。そしてアメリカでの生活が始まり、最初はたくさんの失敗をしてしまいました。

ロックポートロータリーの皆さん、ホストファミリー、家族には大変な心配を掛けてしまい、そんな自分に自信を失い泣いた日々もありました。しかし数々のトラブルを乗り越えながら現地の人達との絆も深まっていったように思います。学校生活は楽しかったですが、やはり授業は想像以上に大変でした。

嬉しかったことは、ロックポート市の学生美術展に私の絵が選ばれ、美術の成績では100点のスコアをいただいたことです。

アメリカでの経験を生かして、大学では国際関係について学びたいという意欲もわきました。

このような素晴らしい機会を与えてくださり本当にありがとうございました。

